

事務事業名		林道維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農山村振興課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	森林整備係	担当課長名	富田一夫	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 林業の活性化					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	9891	一般	6	2	1	林道維持管理事業					
	事業区分	事業区分		事業区分		事業区分		事業区分		事業区分	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度	～	年度	根拠法令 条例等	佐野市林道管理規程				
	実施方法		事業分類		リーディングプロジェクト		市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
市の管理する林道26路線の維持管理を行う(草刈、倒木の片付け、側溝清掃、落石除去、舗装の維持補修、近沢トンネル電気料支払、パトロール等)	林道の維持管理(草刈り、土砂除去、舗装維持補修、近沢トンネル電気料) ・除草作業(林道作原沢入線外6路線) ・塩化カルシウムの設置(林道作原沢入線外6路線) ・道路賠償責任保険の加入 ・林道の土砂撤去(林道長谷場閑馬線、白岩柿平線、近沢線、作原沢入線) ・林道の路面修繕(林道大釜線、長谷場閑馬線) ・林道の防護柵撤去(林道作原沢入線)					
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
市管理林道の路線数	路線	26	26	26	26	26

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市の管理する林道	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
延長		m	62,696	63,195	63,195	63,195	63,195

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

利用者に安全に通行してもらう	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
修繕件数		件	5	6	2	2	2

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

林業を営むための基盤が整備されている	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
林道の整備延長		m	62,696	63,195	63,195	63,195	63,195

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	814	5,611	7,214	7,214	7,214			
	事業費計(A)	千円	814	5,611	7,214	7,214	7,214			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			修繕料	362	消耗品費	274	消耗品費	349	消耗品費	349
			業務委託料	452	燃料費	35	燃料費	101	燃料費	101
					光熱水費	286	光熱水費	360	光熱水費	360
					修繕料	491	修繕料	700	修繕料	700
				道路保険料	17	道路保険料	18	道路保険料	18	
				業務委託料	4,484	業務委託料	5,604	業務委託料	5,604	
		諸資材費	24	諸資材費	82	諸資材費	82			
人件費	人	1	1	1	1	1				
のべ業務時間	時間	40	40	40	40	40				
人件費計(B)	千円	156	158	158	158	158				
トータルコスト(A)+(B)	千円	970	5,769	7,372	7,372	7,372				

事務事業名	林道維持管理事業	担当部	産業文化部	担当課	農山村振興課	担当係	森林整備係
-------	----------	-----	-------	-----	--------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	林道路肩の崩落や落石等の撤去等をより迅速に行うことで通行者の安全を確保するため、平成21年度から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	道路管理者の責任問題が取り上げられるようになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	林道の利用者から、林道の路肩が崩れている等の情報提供がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業統合・連携	平成26年度より市管理林道維持補修事業と統合

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	林道は林業の基盤であり、市管理林道を補修するのは当然である
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	林道は山村の生活環境の向上の面でも重要な役割を果たしており、公共性が高い
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	近年の林業を取り巻く厳しい状況の中、森林の持つ多面的機能が発揮できるよう、その生産基盤の整備が必要である
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	修繕が必要な場所について実施し、通行者の安全を確保している
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	最小の経費で最大の効果が得られるよう努力している
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	市管理林道であるため、修繕費の負担を求めものではない
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	市管理林道が廃止、移管となったとき			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			